

あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



地震・火事、あわてずに避難ができるように備えましょう

毎年9月1日は「防災の日」。今から100年前の1923年9月1日に発生した関東大震災では、地震での被害だけではなく、発生した火災でも甚大な被害が出ました。いつ発生するかわからない地震や火事に備え、家庭でも普段から避難訓練をしましょう。

ひなんの ときの あいことば 「お・は・し・も・ち」

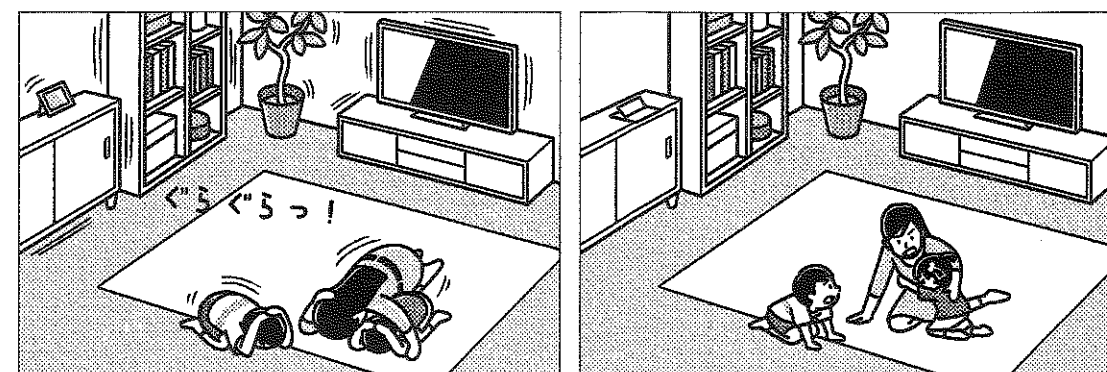
おさない はしらない しやべらない
もどらない ちかよらない



じしんや かじが おきた ときは こわいけれど みんなが
あんぜんに ひなんを できるように だいじな あいことばを
しっかり おぼえて おこうね。

保護者の方へ 災害時の避難では、パニックを起こさないようにすることが大切です。子どもたちを守るためには、保護者の皆さんが落ち着いて、正確な情報に惑わされずに的確な行動をとれるように努めましょう。園で実施している避難訓練だけではなく、ご家庭でも日常的に避難訓練を行いましょう。

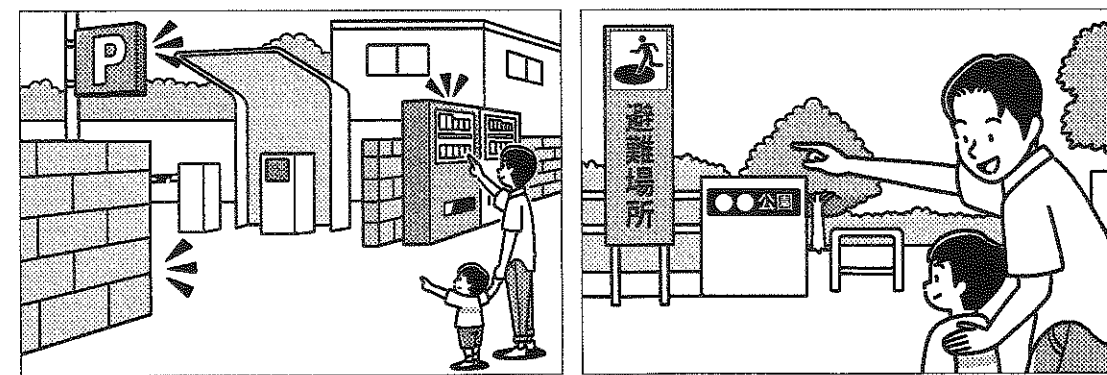
グラグラッ！ じしんが おきたら



じしんが おきた ときは たおれて くる もの・おちて くる
もの・うごいて くる ものから はなれて からだを まもる。
ゆれが おさまってから おちついて ひなんを はじめよう。

保護者の方へ 地震発生の時、避難を始めるのは揺れがおさまってからです。まずは、倒れてくるもの・落ちてくるもの・移動してくるものから離れ、身の安全を図ることが大切です。室内では危険な家具などをしっかり固定しておきます。屋外ではどんな場所が危ないのか、親子での散歩の時などに確認しておきましょう。

ふだんから あぶない ところ・にげる ところを かくにん して おこう



うちの おとなの ひとと いっしょに じしんの ときに
あぶない ばしょや ひなん する ばしょを かくにん して
よく おぼえて おこうね。

保護者の方へ 普段から自宅周辺にあるブロック塀や看板など、地震が起きた時に危険な場所や、「一時避難場所」「広域避難場所」の位置を確認しておきましょう。

10月号では「自転車でのヘルメット着用」について取り上げます。